

公共交通ニュース 

～地元案内人と歩く白猪の滝～

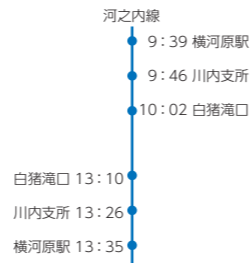


6月14日、「路線バスで東温ぶらり発見」が開催されました。市内外から合計24人が参加し、横河原駅前と川内支所で路線バスに乗車後、白猪の滝を目指して出発しました。現地に到着後は、地元ガイドさんの案内で子規や漱石が歩いた旧道をたどり、壮大な滝や、菖蒲園の満開の花々を楽しみました。お昼は白猪屋さんの名物のおでんを堪能し、帰路につきました。

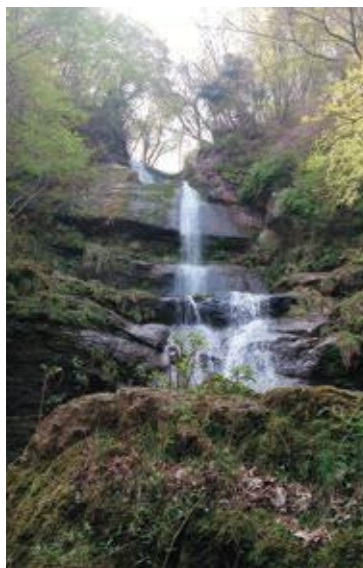
☎ みんなの公共交通を考える会 (☎080-2970-0432)



＜参加者の感想＞  
 天気が良く、アジサイや菖蒲も満開で大変良かったです。今まで歩いたことのない道を歩いて良かったです。地元のガイドさんも丁寧でわかりやすかったです。



地域づくりニュース 



皆様ご存知白猪の滝。実は河之内には、白猪の滝の先にもう一つの滝がある事をご存知でしょうか。それが今回ご紹介する唐岬(からかい)の滝です。この唐岬の滝は滝道を上るのではなく、下りきった場所にあるという、少し変わった滝です。その道中はなかなかワイルド。決してサンダル等では行かないでください。頑張って下りきった先には白猪の滝に負けない程、野性味溢れた美しい滝が待っています。この夏は唐岬の滝に涼を取りに行くのはいかがでしょうか。



地域おこし協力隊 吉本

第6回ほほえみの里夏祭り

日時 8月11日(土)  
 16時～20時  
 (雨天決行)  
 場所 ほほえみの里  
 (田窪2119-1)  
 内容 食物・生産品販売、  
 スタンプラリー等  
 ☎ 清水、立川 (☎964-2224)



子規・漱石の句碑で国際交流

6月29日、日本の古典芸能の魅力を発信する清里アートビレッジ 清里家(東温市則之内)で、文学的な立場から人的な国際交流を図ろうと、正岡子規、夏目漱石生誕150周年を記念した句碑(昨年8月同施設内建設)にノルウェーのオスロ大学教授など3名が招かれました。教授らは、日本古来の伝統への理解や2人の文豪に思いを馳せ、今なお日本の原風景が残る井内地区を楽しんでいました。

東温スピードジュニア 小学生の部優勝!

6月9日、第8回タグラグビーチャレンジin風早で小学生低学年の部と高学年の部で優勝しました。毎年、12月に行われる全国大会(東京開催)に向けて、日々練習に励んでいます。タグラグビーに興味のある小学生、見学、体験に来てみませんか?お気軽にお問い合わせください。

活動日 火曜・木曜・日曜  
 場所 市内小中学校体育館・ツインドーム重信  
 連絡先 ☎090-3460-6115(大塚)  
 ※問い合わせは平日17時～21時



知ってますか?タグラグビー

タグラグビーとはラグビーからタックルなどの接触プレーをなくしたもので、1チーム5人でプレーします。相手のゴールラインを越えたところに走りこんでボールを置けば「トライ」で1点です。すべてのプレーヤーは、腰にタグベルトを巻き、守る側のプレーヤーは攻める側のプレーヤーのタグをとることで前進を止めることができます。

腰にタグをつけます!

タグラグビーは年齢や男女差に関係なく、みんなで楽しめます!

満1歳 Happy Birthday

中岡 愛茜ちゃん (8月1日生まれ 田窪)

坂元 陸仁くん (8月30日生まれ 志津川)

河端 夏翠ちゃん (8月31日生まれ 田窪)

あかねちゃん♡おたんじょうびおめでとう☆あるねえねより♡

陸仁の笑顔で家族も毎日幸せいっぱい!大きく元気に育って♡

いのとんが大好きなっちゃん。これからもすくすく成長して行ってね☆

写真掲載しませんか!

【必要事項】  
 【満1歳】(対象)9月生まれ  
 ①写真 ②氏名(ふりがな)  
 ③住所 ④生年月日  
 ⑤電話番号 ⑥父母氏名  
 ⑦30字程度でお子さんへのメッセージ  
 締切 8月10日(金)  
 応募先 総務課広報担当(☎964-4400) ☎791-0292 東温市役所 総務課  
 メール soumka@city.toon.ehime.jp  
 ※メール件名を「満1歳掲載依頼」としてください。

Ma'o e lelei! (こんにちは!) 最終回

トンガから JICA海外シニアボランティア 平成28年1次隊 栗原 純子

「マロエレレー! フェフェハケ(調子はどう)?」誰かとう会う度に、この挨拶を交わした2年間が終わりました。帰国2週間前、私はトンガ本島から北東へ150kmのハアパイ群島に、トンガ最大のイベントである農業祭のため出張しました。出発の予定が急遽前日に変更になり慌てて家に戻り準備をして、日本が寄贈した「オトアングア」 という名のフェリーに20人以上の同僚達と乗り込みました。島々へ荷物を降ろしながらの移動なので約16時間後の到着です。酷い船酔いで冷えた体を同僚が温めてくれ、それから6日間彼らと寝食を共にしました。普段は一緒に仕事をする事のない人達の中で共にご飯を食べ、お喋りし、時には島巡りに行き、あと少しで日本に帰るのがとても寂しくなる程深く交わる日々でした。食事は1日2食、芋かバナナの主食に鶏、羊、魚と野菜の煮物があかずという質素なものでしたが、誰も文句を言うこともなく、一生懸命に調理してくれる現地の人の姿には感謝の気持ちでいっぱいでした。そして一足先に飛行機で帰る私を送ってくれた同僚は「いままでありがとう、とても寂しい」と泣き、大きな体でハグしてくれました。私の年齢はトンガの平均寿命に近いのですが、様々な感動や学習は歳に関係なく得られ、トンガの人々の大らかさや愛情に包まれた幸せな2年間でした。そして拙い文章をお読みくださった東温市の皆さま本当にありがとうございました。再びの再会を信じてトキシオエー(またねー)。

ハアパイ群島の海辺 農業祭